

商工研 提携セミナー

『現場・製造システム』を
「設計・管理・改善」する”即戦力・実践力”の養成



日時

2026年 2月5日、6日(木金) 12日、13日(木金) 計4日間

会場

東京・平河町近辺の会議室

講師

早稲田大学 理工学術院
創造理工学部 経営システム工学科
名誉教授 吉本 一穂氏



サービス、モノづくりなど、多様な現場・製造システムを変革

- サービスを含む現場の問題発見・改善立案・実行ができる人材になる
- 上流から考える、変革する、デザインできる人材 になる
- 単なる講義による知識習得ではなく、演習と事例により分かり易く体得
- 最終日に「修了証」を授与します
- 参加者の声：
 - ✓ 先生の説明が分かりやすく、よく整理されていた。IEを体系立てて学べて有意義であった。実力があがった気がした。
 - ✓ テキストを後から見た時に分かりやすいように重要な箇所へのマーキングやコメントを追加するなどの指示があり受講者への配慮を感じた。
 - ✓ 自社のライン設計が非常によくないことに改めて気づかされ、改善しようと思った。
- 対象： 生産技術者、第一線監督者、生産革新・改善活動のリーダー
動作研究・時間研究を既にマスターしている方、相当する実務経験のある方
技術士取得を目指している方

「IE・経営工学」は、経営上の問題を発見して解決するためのマネジメント技術です。
IEを活用することで、企業や組織、社会の課題解決が期待できる、広く役立つものなのです。

(実践IEの強化書 日刊工業新社 はじめに より)

プログラム ※ 内容や順序は当日変更になることがあります

1日目	① 経営に貢献する生産システムとは ・ ROI (投資収益率)、ROA (資産対収益率) の向上と生産システム改善 ② 問題発見と改善立案の方法 ・ ムリ、ムラ、ムダとは ③ 生産の3ステップと改善立案の方法 ④ 管理手法としての IE、VE、QC
2日目	⑤ 物の流れに関する分析 ⑥ 工程分析を用いた改善 ・ IE改善の定石とVE改善の定石 ⑦ レイアウトの分析と改善の方向 ・ 流れ線図分析、D・I分析
3日目	⑧ 作業・設備の稼動状況に関する分析 ・ 連続稼動分析 ・ ワークサンプリング ・ 適正人員の検討 ⑨ ガントチャートによる納期の検討 ⑩ 時間研究、標準時間の設定
4日目	⑪ 同期化とライン編成 ⑫ 生産システムの管理 ⑬ 投資のともなう改善活動の経済性評価 ★ 終了証 授与

※ 筆記用具、電卓、30cm定規 をご持参ください

I E 入門コース (年2回 開催)		実力養成コース
標準化・歯止め		◎
ライン設計		◎
システム改善	△	◎
作業・工程改善	◎	◎
改善の方向付け	◎	◎
問題発見・現状分析	◎	○
改善の基盤整備	○	△

受講料

※ 1名様につき 税込み・テキスト代込み

商工研会員	一般(参考)
99,000円	132,000円

お問い合わせ

申込手続きについて 商工中金経済研究所 0120-221-450

セミナー内容について 日本IE協会(コチラ)



日本インダストリアル・エンジニアリング協会

〒102-8643 東京都千代田区平河町2-13-12

TEL 03-3511-4062 FAX 03-3511-4069

E-mail jiie@j-ie.com <https://www.j-ie.com/>

担当
斉藤